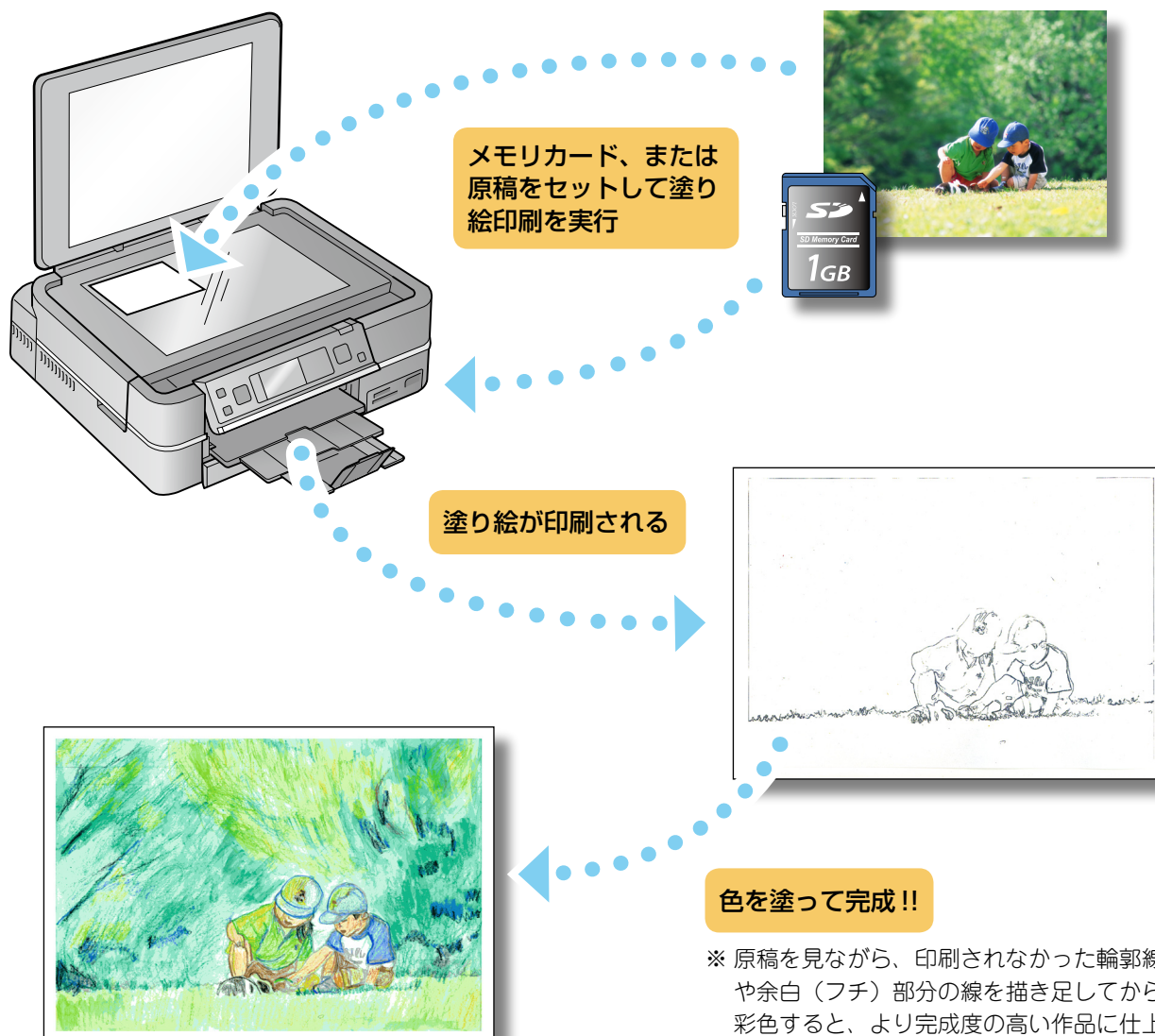
EP-802A

よくわかる！カラリオガイド

塗り絵印刷

NPD4110-00

塗り絵印刷機能とは？

メモリカード内の写真や、イラストなどの原稿から輪郭線だけを抽出して印刷し、塗り絵（下絵）を作成することができる機能です。

※ 原稿を見ながら、印刷されなかった輪郭線や余白（フチ）部分の線を描き足してから彩色すると、より完成度の高い作品に仕上がります。

こんな楽しみ方ができます

思い出の写真を塗り絵にして

思い出の写真を塗り絵にして彩色すれば、
1 枚の絵画として楽しむことができます。

本格的な塗り絵に挑戦

お気に入りの写真を、趣味の塗り絵と
して楽しむことができます。

リフォームや模様替えの参考に

ご自宅の外観や室内の写真を塗り絵にすれば、リフォームや模様替
えのカラーコーディネートを気軽にシミュレーションできます。

クリスマスカードに

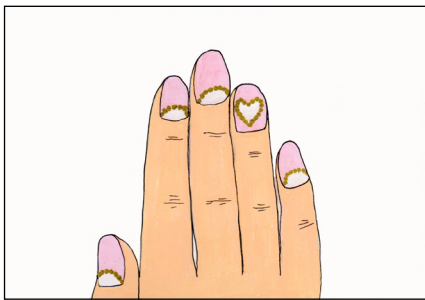
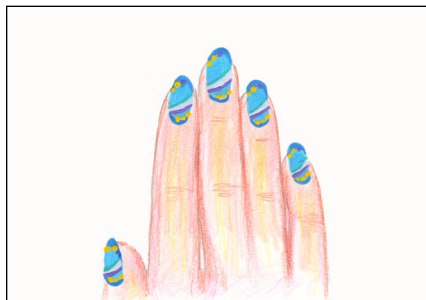
自宅の写真を塗り絵にしてイルミネーションで
飾れば、オリジナルのクリスマスカードができます。

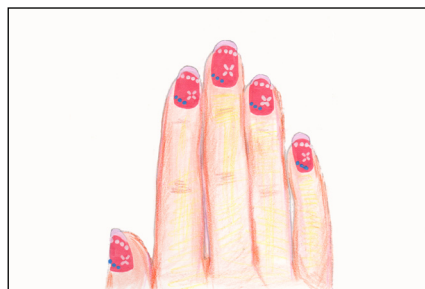
どんな花を植えようかな？

季節の移り変わりを塗り絵で楽しんでは？

ネイルアートに

自分の手でネイルアートのデザインを考えてみては？

ハートで愛らしく

涼しげで夏向きに

ポップで元気な印象に

小花模様で春らしく

お気に入りの写真で絵ハガキを

「絵手紙に興味はあるけれど、絵にはあまり自信がなくて‥」そんな方でも大丈夫!! 輪郭線に合わせて色を塗っていくだけで、簡単にオリジナル絵ハガキを作ることができます。

お気に入りのイラストを塗り絵にして

お気に入りのイラストなどを塗り絵にして、配色を変えて塗り直せば全然違う印象に。人物のイラストなら洋服やアクセサリーの色を変えるなど、着せ替え遊び気分で塗り絵を楽しむことができます。

塗り方を変えて楽しもう

水彩絵の具・色鉛筆・クレヨンなど、それぞれの特性やタッチを生かして塗ることで、より生き生きとした作品に仕上げることができます。

水彩の透明感を生かして

色鉛筆で繊細に

クレヨンで大胆なタッチを楽しんで

フェルトペンでメリハリくっきり

※ このサンプルは、フェルトペンと色鉛筆を使用しています。

塗り絵印刷をしてみよう

塗り絵印刷機能に適した原稿

塗り絵印刷機能では原稿の輪郭線だけを抽出して印刷します。
そのため、被写体がはっきりと大きく写った写真や、はっきりした線で大きく描かれたイラストなどの原稿が適しています。

例）人物写真の場合：明るい場所で人物が大きく撮影されたもの

塗り絵印刷機能に適していない原稿

以下のような原稿では、輪郭線がうまく抽出されないことがあります。

**ピントが合っていない写真
手ぶれした写真**

暗い写真

雑誌などの印刷物に掲載されている写真やイラスト

ノイズの多い写真（暗いところで高感度撮影した写真など）

輪郭があいまいな写真やイラスト（空と山、空と雲の風景写真など）

！重要　塗り絵印刷に使用する原稿（著作権物）は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。著作権侵害や同一性保持権侵害により当社が何らかの損害を被った場合、当社はお客様に対して、当社が被った損害の賠償を請求できるものとします。

原稿をスキャンして下絵にする

1 ［塗り絵印刷］を選択します。

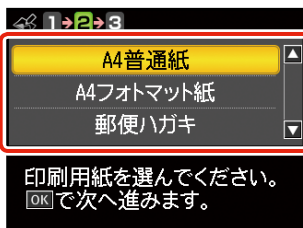
2 ［原稿をスキャンして下絵にする］を選択します。

3 原稿台に原稿をセットして、【OK】ボタンを押します。

使用できる原稿のサイズは、最小 30 × 40mm、最大 210 × 297mm（A4 サイズ）で、印刷用紙に合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷されます。
原稿のセット方法は以下をご覧ください。
☞『操作ガイド』－「原稿のセット」

【OK】ボタンで次へ

4 印刷用紙を選択します。

［A4 普通紙］・［A4 フォトマット紙］・［郵便ハガキ］から選択します。

5 印刷用紙をセットします。

手順 4 で選択した用紙をセットします。
用紙のセット方法は以下をご覧ください。
☞『操作ガイド』－「印刷用紙のセット」

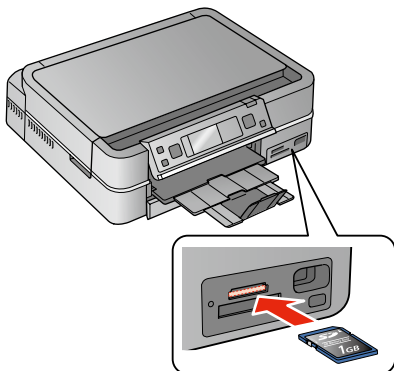
参考
- 郵便ハガキは上トレイにセットしてください。
- 上記画面で【メニュー】ボタンを押すと、線の濃さや多さを設定できます。
☞9 ページ「線の設定を変更する」

6 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

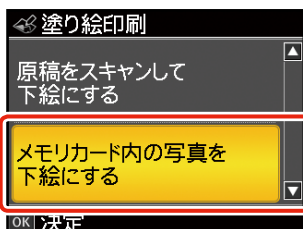
塗り絵が印刷されたら、お好みのペンなどを使って塗り絵を楽しんでください。

メモリカード内の写真を下絵にする

1 メモリカードをセットします。

☞『操作ガイド』－「メモリカードのセット」

2 ［塗り絵印刷］を選択します。

①【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで[塗り絵印刷]を選択
②【OK】ボタンで決定

3 ［メモリカード内の写真を下絵にする］を選択します。

①【▲】か【▼】ボタンで［メモリカード内の写真を下絵にする］を選択
②【OK】ボタンで決定

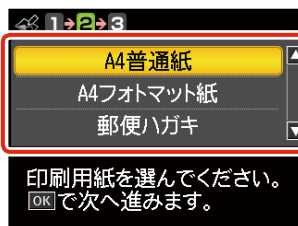
4 画面の内容を確認し、【OK】ボタンを押します。

【OK】ボタンで次へ

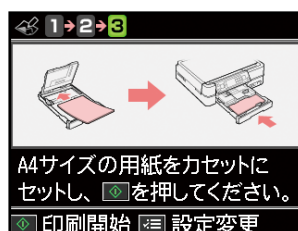
5 下絵にする写真を選択します。

①【◀】か【▶】で写真表示
②【OK】ボタンで決定

6 印刷用紙を選択します。

［A4 普通紙］・［A4 フォトマット紙］・［郵便ハガキ］から選択します。

7 印刷用紙をセットします。

手順 6 で選択した用紙をセットします。
用紙のセット方法は以下をご覧ください。
☞『操作ガイド』－「印刷用紙のセット」

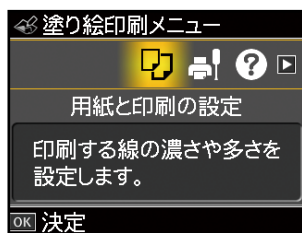
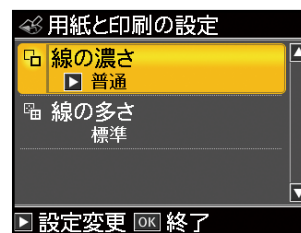
参考

- 郵便ハガキは上トレイにセットしてください。
- 上記画面で【メニュー】ボタンを押すと、線の濃さや多さを設定できます。
  ☞9 ページ「線の設定を変更する」

8 【スタート】ボタンを押して、印刷を実行します。

塗り絵が印刷されたら、お好みのペンなどを使って塗り絵を楽しんでください。

線の設定を変更する

7ページの手順 5 、または8ページの手順 7 で【メニュー】ボタンを押すと、［線の濃さ］・［線の多さ］を設定できます。原稿や写真の被写体、塗り絵の使用目的によって設定を変更して使うと便利です。

① 【メニュー】ボタンを押す

②【◀】か【▶】ボタンで［用紙と印刷の設定］を選択
③【OK】ボタンで決定

④【▲】か【▼】ボタンで設定変更する項目を選択
⑤【▶】ボタンで設定値表示

同じ写真でも、線の設定で以下の通り印刷結果が変わります。

線の多さ ＼ 線の濃さ	多い ←（やや多い）— 標準 —（やや少ない）→ 少ない		
濃い インパクトをつけたいときに			
普通 色を生かして仕上げたいときに			
薄い イラストなどを書き加えたいときに			